

科目名	経済の歴史と法則 I (経済原論)		担当者名	尾道 博(オマチヒロシ)	
開講年次	1	開講時期	前期	クラス	
授業形態	講義	履修方法	必修	単位数	2
ナンバリング	C0011	該当DP	DP2,DP3		
授業概要	1. 経済学が誕生した時代背景とその内容について説明する。 2. 最初の経済学である古典経済学について説明する。 3. マルク経済学の本来の意味を理解したうえで、現代社会主義国家との違いを明らかにする。 4. 新古典派経済学について説明。5. ケインズ経済学の成果と限界について説明。 6. ミクロ経済学の対象となる経済活動について説明する。 7. マクロ経済学の対象となる経済活動について説明する。 8. ミクロ経済学、マクロ経済学日本経済の問題点などを明らかにする。				
到達目標	1. 経済学の成立から現在までの展開とその時代背景を把握する。 2. アダム・スミス、カール・マルクスの経済学について理解する。 3. 新古典派経済学について理解する。 4. ケインズ経済学を理解したうえで、ミクロ経済学について説明できること。 5. マクロ経済学の内容を理解し、説明できること。 6. ミクロ経済学、マクロ経済学と日本経済との関わりについて説明できようにすること。				
授業計画	回	授業内容		授業外学習 (内容と時間)	
	1	経済学の意味と生活にとってどのような意味があるのか考える。		新聞の経済欄の購読	90分
	2	経済学の起源から現代までの流れ		配布プリント	90分
	3	古典経済学①		配布プリント	90分
	4	古典経済学②		配布プリント	90分
	5	ケインズ経済学		配布プリント	90分
	6	経済学の基礎用語		配布プリント	90分
	7	ミクロ経済学①		配布プリント	90分
	8	ミクロ経済学②		配布プリント	90分
	9	ミクロ経済学③		配布プリント	90分
	10	ミクロ経済学と日本経済		配布プリント	90分
	11	マクロ経済学①		配布プリント	90分
	12	マクロ経済学②		配布プリント	90分
	13	マクロ経済学③		配布プリント	90分
	14	マクロ経済学と日本経済		配布プリント	90分
	15	今後の経済理論 (日本経済の課題と経済理論)		配布プリント	90分
教科書	未使用ですが、プリントを配布します。				
参考書	中村達也その他『経済学の歴史』(有斐閣、2001年)、飯田泰之『経済学講義』(ちくま新書、2017年)、				
成績評価	方法	割合	備考		
	授業態度	30%	私語をせず、携帯は使用しない。		
	課題・レポート	30%	自分の言葉で表現する。採点して返却します。		
	期末試験	40%	論述方式と穴埋め方式。		
履修上の注意	1. 授業中の私語とスマホの使用禁止 2. 授業内容をまとめ、授業終了後に提出 (採点して返却)				
実務経験との関連					
オフィスアワー	出講時いつでも可		メールアドレス	hyta08@yahoo.co.jp	